岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14' 09.8924"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年11月29日～ 令和5年12月 2日	東経	132° 34' 35.8412"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 157.70m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：シブヤ TSA-165 / エンジン：ホンダ EU26ij / ポンプ：丸山 MS157

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	156.90	0.80		礫混り砂	褐								φ2～5m位の角レキが30%位混じる。 GL-0.2m付近まで植物片が混じる。																		
1				花崗岩	乳褐	w5	h1	E	V	d	D	0[0]				37	1.15	37					11/29	100	66	D/DB	0	700	1	W3/3	3
2												0[0]					1.45	300						100							
3					～							0[0]	GL-3.0m付近まで風化しており土砂化している。 原岩組織がやや不明瞭な区間がある。			38	2.15	38						100							
4						w4		D	IV		D	0[0]	GL-3.0～4.4m付近、やや硬質となるが、弱風化している。				2.45	300						100							
5					褐灰							7[0]	GL-4.4～5.2m付近、レキ状～短柱状コア主体となる。			50以上	3.15	50	280	280				100	D/MC						
6	151.70	6.00				w3		C	III	c	CL	20[34]	GL-5.2～6.0m付近、短柱状から棒状コア主体となる。				3.43	280						100							
7																50以上	4.15	50	250	250				100	D/DI	0	1000	1	W3/3	3
8								A	II	b	CM						4.40	250						100							
9																50以上	5.00	貫入本能						100				1	W3/3	0
10																50以上	6.00	貫入本能					12/2								
11																															